

2015年7月6日

民主党 代表  
岡田克也 様

民主党女性議員ネットワーク会議  
一同

「民主党女性議員ネットワーク会議」は、2003年に「男女共同参画の実現をめざし、女性議員ゼロをなくそう！女性議員をさらに一人プラスしていこう！」  
「女性議員一人ひとりが福祉や教育、子育てなどのテーマをもって行動し、分権時代にふさわしい地域行動を巻き起こしていこう！」と呼びかけ、設立されて11年、これまで毎年総会・研修会を開催し積極的な取り組みと活動を行い、それぞれが所属する地方議会において成果を挙げてきました。

今春の統一地方選では民主党に対する逆風の中、党本部の資金等のご支援を頂き、多くの女性議員の当選を勝ち取りました。

選挙戦では「戦争を出来る国にしないでね」「子ども達が戦場に行くようになるのか不安」との声を聞きました。また、昨年、御嶽山の大噴火、口永良部島のマグマ水蒸気爆発、小笠原沖の太平洋プレートでの巨大地震など、列島の火山活動が活発化している今、原発の再稼働には慎重になるべきだと考えます。福島原発の教訓、戦争体験者の方々の声に耳を傾け、子ども達の未来に真摯に向き合うことが大切です。

大きく日本の未来が変えられようとする今こそ、民主党が真の男女共同参画社会の実現と、それによって誰もが大切にされる社会作りをめざす政党として再生するために、以下要請いたします。

1 さらなる女性候補擁立・支援と必要な環境整備を実行すること。

今春の統一地方選挙で地方議会に議席を得た女性議員の割合は14.2%。主要政党別の女性議員の割合は、共産党38.8%、公明党と社民党がいずれも19.5%、民主党17.6%、維新10.7%、自民党5.7%であり、民主党の女性議員の擁立・支援は、まだまだ不十分と言わざるを得ない。

女性議員への人的・財政的支援の拡充、特に、一般市区町村議員や惜敗した候補者へのバックアップ体制の充実、候補者の発掘・養成のための「女性のための政治スクール」の開催について、必要な環境整備を実行すること。

2 「民主党女性議員ネットワーク会議 2015年～2016年の重点施策と行動計画」の活動を展開するために最大限の支援を行うこと。

3 民主党は、現行憲法の基本理念を具現化し、真の立憲主義を確立すべく、国民の皆様とともに「憲法対話」を進め、補う点、改める点への論議を深め、「国民主権」・「基本的人権」・「平和主義」を守り、未来志向の憲法を構想する論議を進めている。

さらに議論を深め、集団的自衛権の行使を撤回し、平和憲法第9条を生かし、人道支援や平和的外交を通じて、核兵器の廃絶および世界平和の実現に貢献すること。

4 福島原発の事故の教訓を忘れることなく、子どもや孫、そして未来の地球に安全でクリーンな環境を引き継ぐことを決意し、2030年代原発ゼロを実現するため、再生可能エネルギーの促進に最大限の努力をすること。